



TEAM FUKUOKA NEWS

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュースレター

Today's News Flash



フィギュアスケート連日の表彰台 ～成年男子第3位～

1月30日、名古屋市の日本ガイシアリーナで行われたフィギュアスケート成年男子で、郡山・山田組が3位入賞を果たした。29日に
行われたショートプログラム終了時点では、郡山選手が6位、山田選
手が15位で福岡県の順位は6位であり、辛うじて8位入賞圏内に留
まる展開となった。しかし、翌日行われたフリースケーティングでは、
山田選手が殆どミスなく会場を沸かせる快心の演技を披露、順位を4
つあげ11位となり流れを引き寄せた。二人目の郡山選手は、日本を
代表する選手が含まれる最終組に出場、他県の選手が緊張し力が出せ
ない中、本来の力を発揮して7位に入った。この結果、強豪の東京都
と兵庫県を抑え3位に入賞した。昨年度この種目で優勝した南里選
手・中庭選手が引退したことから、この種目での戦いに不安を感じる
声もあったが、郡山・山田選手の活躍は、福岡県の層の厚さを十分に
知らしめた。



観客を沸かせる山田のステップ

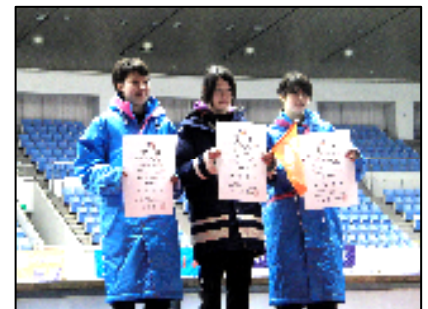


安定したジャンプを見せる郡山



ショートトラックスピードスケート ダブル入賞 ～少年女子1000m 第2位・3位～

1月31日、名古屋市の日本ガイシアリーナで始まったショート
トラックスピードスケートで、2人が表彰台に上がった。決勝は、2月
24日からオーストラリア・メルボルンで開催される世界ジュニアショ
ートトラックスピードスケート選手権大会2012に、日本代表として
内定している福岡県の辰巳・南里選手と、ユースオリンピック日本代
表で銅メダリストの菊池選手（長野県）を含む6名で行われた。レー
ス序盤、辰巳選手が積極的に前に出て、南里選手が続く福岡県ペー
スで展開するが、後半、惜しくも菊池選手にかわされ2位・3位とな
った。レースを振り返った辰巳選手は、「終盤に大きく離されすぎた。次
はもっと接近するレースができるよう頑張りたい。」と今後の抱負を語
った。



第2位の辰巳選手（左）と第3位の南里選手

Result

フィギュアスケート

【1月30日】

成年男子	郡山智之	7位
	山田耕新	11位
	総合	3位

【1月31日】

成年女子	南里美羅	24位
	加野 藍	31位

ショートトラックスピードスケート

【1月31日】

成年男子 3000m	リレー (山田・竹内・江田・山下)	予選 3位
	1000m 山田 誠	予選失格、竹内 悠 予選 4位
成年女子 3000m	リレー (古賀・駒谷・山田・松尾)	2位 A 決勝進出
	1000m 古賀あや	準々決勝 4位
	駒谷紗瑛	準々決勝 4位
少年男子 1000m	伊藤聡貴	準々決勝 3位
	山崎健人	予選 3位
少年女子 1000m	辰巳香子	決勝 2位、南里雅綺 決勝 3位